

第 7 回 武州カップ少年野球秋季大会

1. 大会名 武州カップ少年野球秋季大会
2. 主催 武州カップ少年野球実行委員会
3. 運営委員 武州カップ実行委員会
4. 後援 武州ガス株式会社・武州産業株式会社
5. 開会式 平成30年9月8日(土曜日) 午前8時～
6. 大会日程 平成30年9月8日(土曜日)～15日(土曜日) 予備日16日(日曜日)
7. 大会会場 鶴ヶ島運動公園メイン他
8. 大会規定 武州カップ少年野球大会規定
9. 連絡先 大会責任者 佐藤 正 Tel 090-9841-6559

第 7 回 武州カップ少年野球秋季大会規定

1. 出場選手 登録選手は4年以上とする。
2. 試合 7イニング又は1時間30分とする。
注1)1時間30分を経過したら新しいイニングに入らない。
注2)時間内でも同点の場合は、タイブレークを採用する。
*タイブレークは武州カップ少年野球大会特別ルールとする。
(無死満塁、継続打順とし、その回数は1イニングとする。
尚 勝負が決しない場合は抽選とする。)
3. コールドゲーム 4回以降10点、5回以降7点差とし試合は成立する。
降雨、日没の場合は5回終了、もしくは60分経過を以って試合は成立とする。
その他は、再試合とする。
4. タイムの要求 監督が投手に対し、指示を与えることを目的とした場合1イニング1回とし、2回目は交代とする。(監督はマウンドへ小走りに行き指示を行なう。)
5. ボーク 1回目は注意とするが明らかな場合はその限りではない。
6. 抗議 抗議できるのは、監督と当該選手とする。抗議時間は1分以内とする。
7. 審判員 チーム審判員2名を準々決勝まで、準決勝・決勝は運営委員会で行なう。
チーム審判員は、若番が主審・二塁、老番が一塁・三塁の審判を行う。
1日3試合:1試合目は2試合目の両チーム2名、2試合目は1試合目の両チーム2名、3試合目は1・2試合目の勝者各2名が行なう。
1日4試合の場合:1試合目、2試合目は前後、3試合目、4試合目は前後で行なう。
8. ベンチ入り チームの代表者、監督(30番)、コーチ(29番・28番)、スコアラーの5名以内とし、選手は20名以内(0番～27番)とする。尚代表者、スコアラーはチームと同一の帽子を着用する。
9. その他 捕手は投手の準備投球も含め装具を着用する事。
(マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット)
投手の投球練習は、初回7球、2回以降は3球とする。
(リリーフ投手についても、同様とする。)
ベンチは組合せ表の若番が1塁側、老番が3塁側とする。
集合時間は、試合開始時間60分前までに試合の出来る状態で集合の事。
シートノックは行なわない。
試合前の練習でユニフォームを着用したコーチ以外はグラウンドに入れない。
捕手が防具装着の間は投球数に関係なく控え捕手は座って受ける事が出来る。
*上記以外は、全日本軟式野球連盟学童の部ルールに準ずる。